

JFA 第 28 回全日本 U-18 女子サッカー選手権大会（1・2 回戦）

参加報告書

報告者：島根県 2 級審判員 伊藤華蓮

○研修日程

2025 年 1 月 2 日～1 月 4 日

事前研修（zoom）2024 年 12 月 19 日

○大会概要

大会名：JFA 第 28 回全日本 U-18 女子サッカー選手権大会

会場：J-GREEN 堺

日程：2025 年 1 月 3 日 1 回戦

1 月 4 日 2 回戦

1 月 6 日 準決勝

1 月 11 日 決勝

○事前研修 12 月 19 日

ファウルの判定について事前研修を行いました。資料映像を①状況②事象③判定の 3 つの順序を立てて見極めて行きました。①は DOGSO、SPA、それ以外に分けてカードが出るのかどうかを判断して行きました。②は事象前、事象、事象後をボールに対してプレーの優先権のない競技者にフォーカスを当てました。③は上記の 2 点を踏まえて総合的に判断して行きました。グループに分かれて、ディスカッションをしました。ファウル判定についてとてもわかりやすく教えていただき、大会参加に向けていい学びが出来ました。

○研修 1 月 2 日

大会前日に会場に集合し、はじめに大会要項についての確認を行いました。その後、動き出しのタイミングとファウルの見極めについて研修をしました。

動き出しのタイミングでは主審をする際にいつ動き出せば正しい判定が出来るのか、映像を見ながら話し合いました。私自身、主審をする際に動き出しについてアドVICEをいただくことが多いため、とても参考になりました。正しい判定をするため、何か起きるか予測して動くために、動き出すタイミングが大切であると学ぶことが出来ました。

ファウルの判定では、事前研修と同様、3 つの順序から見極めて行きました。

○研修 1 月 3 日

研修は、試合の振り返り、ファウル判定、審判員のトレーニングについて行いました。

まず、1回戦の試合で起きた事象を取り上げて研修を行いました。事象は、アドバンテージとPKでした。アドバンテージでは、ボールの行方をしっかり確認して得点につながったシーンでした。PKでは、笛のタイミング、強さ、PKの手順についてでした。主審は笛を用いて意思表示、周囲に伝えることが出来るため、プレーの状況によって強く吹くなどの工夫をすることが大切であると教えていただきました。PKの手順では、参加者でデモンストレーションを行い、確認を行いました。

その後、ファウル判定について事前研修に引き続いて行っていました。今までの資料映像では、全てファウルとなるプレーでしたが、今回はノーファウルとなる事象についても話し合いを行いました。事象を見る際の対象者をボール保持者に変えると接触の強度、ボールにプレーできる可能性などが変化して見えました。

最後に、審判員のトレーニングについてでした。ほとんどの参加者が普段一人でトレーニングを行っているため、どのようなトレーニングをしていくといいのかについて教えていただきました。1級審判員の方のトレーニング例を見せていただき、参考になる点が多々ありました。

○担当試合

・1回戦 1月3日

朝日インテック・ラブリッジ名古屋スターチス vs 京都精華学園 LFC

R：伊藤華蓮 A1：中市里実氏 A2：岸本猛氏 4th：芝村洋一氏 INS：鮎貝志保氏

・2回戦 1月4日

INAK 神戸レオンチーナ vs 朝日インテック・ラブリッジ名古屋スターチス

R：岩佐莉奈氏 A1：伊藤華蓮 A2：出羽のどか氏 4th：今村義朗氏

INS：鮎貝志保氏

○試合の振り返り

・1回戦

主審として動き出すタイミングとボールとの距離を意識しました。事象が起ころうなプレーをいつもより、良い位置で判定することが出来たと思います。かなり力の差があるゲームとなりましたが、一貫した判定をすることが出来ました。インストラクターの方との振り返りでは、とても落ち着いて判断していたと評価していただきました。前半の終盤で両チームのフィールドプレーヤーが同時に負傷したシーンがありました。その際に、歩けない様子が重症度の高い競技者から担架で運ぶ判断が冷静に出来ており、とても良かったと言っていました。改善点として、クロスが上がる際に、ボールの行方を見るのではなく、ゴール前の選手の接触や状況を見るようにすると良いと指導していただきました。全国大会で初めて主審を行い、かなりプレッシャーがありましたが、一緒に組んでいただいた審判

員の方々に助けてもらいながら無事に試合を終えることが出来て良かったです。

・2回戦

副審をさせていただき、オフサイドの判定を落ち着いてすることが出来ました。ゴールに絡むオフサイドも冷静に判定でき、インストラクターの方にも褒めていただきました。主審の方と目を合わせたり、シグナルを合わせたりするなど良い関係で審判が出来ました。改善点として、ライン上を走るのではなく、間接視野でラインが見えるように立ち位置を調節すると良いと指導していただきました。ラインが見えることでオフサイドラインに対して直角にポジションを取ることが出来ると教わりました。また、オンサイドの際は最終ラインがボールとなるため、全速力でボールとラインを合わせるとよりよくなると教えていただきました。副審として、走ることで自分の意思表示が出来るため、今後も心がけていきたいです。

○大会全体を通して

今回、初めて全国大会に審判員として参加させていただきました。他の地域の女性審判員の方々と仲良く、楽しく研修をすることが出来ました。他の審判員の試合を見て、学びとなる部分がたくさんありました。試合以外の部分では、みなさんと楽しくお話ししたり、食事をしたりしてとても充実した3日間となりました。また、関西地域の派遣審判員の方々とも、様々なコミュニケーションを取ることが出来ました。楽しく審判をすることが出来、とても良かったです。

最後となりましたが、今大会に推薦していただきありがとうございました。たくさんの学びと経験をすることが出来ました。今後の審判活動に得たことを活かして、地域での活動を頑張っていきたいです。また機会があれば、是非参加させていただきたいです。

ありがとうございました。

